**2024 年度日本障害者ゴルフ協会主催競技**

**プレーのペースの方針**

I.日本障害者オープンゴルフ選手権、片マヒ障害オープンゴルフ選手権、地方障害者振興大会、Glico Paragolf 選手権、 Grand Prix Open Golf Championship 、SEIJO SATO MEMORIAL 日本障害者マッチプレー選手権においては、以下のプレーのペースの方針を設定する。

(a)許容時間 各ホールには、距離や難易度に基づいて終了するための最大時間が定められている。18 ホールそれぞれを終了するために割り当てられるこの最大時間はプレーする前にスタ ートで入手することができる。

 定義「アウトオブポジション」

第 1 組と、スターターズギャップ(決められたスタート時間間隔)の直後の組は、そのラウンドのどの時点であっても、 その組の累積時間が、終了したホールまでに許される時間を超えた場合、アウトオブポ ジションとなったものとみなされる。それ以外の以後の組は、前の組とのスタート間隔 時間を超え、かつ終了したホールまでに許される時間を超えた場合、アウトオブポジションとみなされる。

注:アウトオブポジションとなっている「以後の組」を計測するかどうかの裁定を行う 際、終了したホール数のために割り当てられた時間を超えていない組に対して寛 大さを示すことができる。

(b)組がアウトオブポジションとなった場合の処置 1.ある組を計測することが決定された場合、その組の各プレーヤーはレフェリーによ

って個別に計測されることになる。その組の各プレーヤーは「アウトオブポジショ ンになっているので計測される」という事を告知される。

2.ショットごとに割り当てられる最大時間は 40 秒である。次の場合に最初にプレー するプレーヤーは追加の 10 秒が許される。これらの最大時間を超えた場合、「バッドタイム」となる。

・パー3 のホールで ・アプローチショットで ・チップあるいはパットで

計測はプレーヤーが球に到着するために必要な時間が経過し、プレーの順番とな り障害や妨げるものがなくなったときにスタートする。 パッティンググリーン上では、計測はプレーヤーが球を拾い上げ、ふいて、そして リプレースし、ボールマークを修理し、ルースインペディメントを取り除くための 合理的な時間を経過したときにスタートする。ホールの向こう側から、また球の後 方からラインを読むために費やした時間は次のストロークのための時間の一部と してカウントする。

3.計測は組が遅れを取り戻したときに中止し、プレーヤーはそのことが告知される。

注:状況によっては、全員を計測するのではなく、その組の 1 人のプレーヤーある いは2人のプレーヤーだけが計測される場合もある。

この条件の違反の罰:

バッドタイム 1 回目：
プレーヤーはレフェリーから警告を受け、次にバッドタイ ムとなった場合には罰が課せられることを告げられる。

バッドタイム 2 回目:
1打の罰

バッドタイム 3 回目:
2打の罰

バッドタイム 4 回目
競技失格

(c)同じラウンドで再びアウトオブポジションとなった場合の処置
ある組が 1 ラウンドで 2 回以上アウトオブポジションとなった場合、上記の手続きが 各ケースに適用される。同じラウンドのバッドタイムと罰の適用はそのラウンドが終 了するまで持ち越される。最初のバッドタイムを知らされる前に 2 度目のバッドタイ ムとなった場合、罰は課せられない。

(d)組がアウトオブポジションとなっていない場合に警告なしの無作為の計測 状況によっては、ある組、または個人のプレーヤーを警告なしに計測することができ る(組がアウトオブポジションとなっていない場合も含めて)。このような「無作為の 計測」の場合、上記の(b)項に規定された規則と罰を適用する。ただし、プレーヤー が 1 ショットをプレーするのに 60 秒を超え、上記(b)の最初にプレーするプレーヤ ーに与えられる追加の 10 秒を加え、つまり合計 70 秒を超えた場合のみバッドタイム が与えられる。